

市政を問う！

一般質問

9月定例会では、22・24・25日の3日間で14人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



議長
大石 圭子



副議長
古川 歩



一般質問

比企 孝司 議員（わらび未来の会）

発火を防ぐリチウムイオン電池への対応について

議員 リチウムイオン電池等の回収に必要なだいたい色のかごに、注意喚起の表示がさらに必要ではないか。

市民生活部長 現在、かごに貼れるシールを作成しており、各地区の収集曜日と、「リチウムイオン電池等」といった表記に変更予定である。

議員 誰でも分かるよう徹底していただきたい。また、12月に回収用の透明袋と一緒に啓発チラシを配布するとのことだが、リチウムイオン電池等を使用している製品が分かるようにしてほしいがどうか。



リチウムイオン電池等は透明袋に入れてだいたい色のかごへ



録画配信

市長 例えば、CMなどでリチウムイオン電池等の捨て方の注意喚起等を行うことや、スプリングラー設置等の取り組みとそれに対する財政支援も必要だと思つ。また、特別交付税措置に関する補助率の引き上げ、さらに、蔵戸田衛生センターの復旧建設工事に係る財政支援等、他自治体の首長とも共有し、国に強く要望していきたい。

市民生活部長 啓発チラシについては、危険性、捨て方等、まとめて記載する。また、日本語・外国語表記を両面刷りし、捨て方を周知できるようにチラシを考えている。

議員 リチウムイオン電池を含む製品の安全対策に関する具体的な要望及び財政負担の

新設される市民公園のボール遊びができる広場について

議員 誰にでも分かる利用内容の看板の設置、ゲートボール場の利用の継続、また、管



ひき こうじ

理棟との連携について等、要望が来ているがいかかがか。

都市整備部長 利用案内板にはゲートボールの利用時間等を明記した上で周知を図るとともに、仕切りネットでエリアを区分する等、安全確保にも努める。また、市民公園には公園管理人が2名常駐しており、ボール広場においても入り口の開閉施設等、適切な管理をしていきたい。

学校の校庭・体育館の開放について

議員 ボール遊びもできる学校の校庭、体育館の開放についてはどうか。

教育部長 市内の全ての小学校で平日の放課後にボールを使用して校庭で在校生が遊ぶことを可としている。一方、体育館については、鍵や安全の管理が難しいことから開放している学校はない。

議員 土・日曜日に開放している市もある。検討をお願いする。

栃本 よしかね 議員(わらび未来の会)

市立病院建替え整備事業等について



録画配信



とちもと よしかね

議員 市立病院建替えの進捗状況と事業スケジュールはどのようなか。

病院事務局長 建物や駐車場の配置等、全体計画を進めてきた。今後は構造、電気設備、機械設備等の検討も行い、年度内に基本設計を策定する。

議員 総合診療科の設置及び病院設計に生かすことについてどのように考えるか。

病院事務局長 総合診療医の確保は重要だと考える一方、内科が同様の役割を担っており、現時点での設置は難しいが、必要な検討は行っていく。設計についても診療室等、柔軟に対応していく考えである。

議員 総合診療科は医師不足という大きな問題の中で重要な診療科だと思う。経営改善に向け、引き続き柔軟に取り組んでほしいと要望する。

地域完結型の医療・介護提供体制の構築を

議員 地域の主要な医療・介護提供主体との協議・連携は

どのように進めているか。

健康福祉部長 医療・介護連携ネットワーク会議において、在宅医療・介護の連携の現状や課題を共有し、対応策を検討する等、連携体制の構築を推進している。また、在宅医療担当者会議への出席、連携ネットワーク、緩和ケアへの参加等、連携を図っている。

議員 地域の情報共有システムとしてMCS（メディカルケアシステム）を導入するに当たり、個人アドレス付与の現状はどのようなか。

健康福祉部長 本市ではMCSの運用を藤戸田市在宅医療支援センターに委託しており、個人アドレスではなくMCS専用のアドレスで登録し、担当者のみで使用できるように管理している。

議員 個人アドレスを付与し、円滑に運用することが望ましいと考える。また、職員の負担軽減、業務の効率化において文書管理システムの早期導入が必要だと



LINEのお友だち登録をすると基本メニューから防災情報を簡単に確認できる

災害対策について

考えており、推進を強く願っている。

議員 LINE公式アカウントにおいて、災害対策にかかわる活用はどのようなか。

市民生活部長 防災行政無線の放送内容のほか、防災に関する啓発や訓練、講座情報等を災害時には各種避難情報のほか、市内の被害状況や避難所の開設状況等を配信していく予定である。

議員 デジタル技術を防災に生かすことは重要であり、積極的な活用推進を要望する。

庄野 航二 議員(わらび未来の会)

未来を担う子どもたちのために学校トイレの改修について



録画配信



しょうの こうじ

議員 学校トイレの改修の進捗状況と今後の計画はどのようなか。

教育長 今年度実施している3校のトイレの改修については、現在順調に進捗している。また、並行して次年度実施予定の小学校4校の設計委託を進めており、令和9年度には中学校3校の工事が実施できるよう検討を進めている。

議員 今回、校舎内に多目的トイレが各1か所新設されることで、良い一歩だと感じているが、数は十分だと考えているのか。

教育長 一時的なけがの際や教職員の利用、また、校舎が



改修後の塚越小学校トイレ

避難所として利用される場合等、様々な状況を鑑みると、1か所でも多目的トイレがあると利便性が向上すると思われる。その上で、設置後の利用状況等も分析しながら、他の階への設置等も含め、校舎全体のバリアフリー化の対応を検討していきたい。

議員 可能であれば全部の階にあるといい。引き続きバリアフリーの対応をお願いする。

学校の水泳授業の指導委託及び今後の学校プールの活用について

議員 今年度、外部委託が行われている小学校4校及び残り3校の水泳授業の状況はそれぞれどのようなだったか。

教育長 4校については、施設との間を大型バスで移動し、泳力別に4グループに分け、各グループに専門のインストラクター1人がつく。教職員はプールサイドで児童の見守りや評価、支援を要する児童への対応を行った。3校につ

いては、雨天や気温の影響により中止となる日があったが、別の日への振替や時間割変更を行うことにより予定通りの授業時間数を確保できた。

議員 子どもたちにとってよい方法を検討していただきたい。また、中央プールの屋内プールへの改修については、時間をかけて将来のまちづくり全体を見据えた上で、子どもたちを含む市民の皆さんに喜ばれる今後の方向性を検討していただきたい。

保育園の設備について

議員 市内の公立保育園の多くは老朽化が進んでおり、計画的な修繕や改築が不可欠であると考ええる。大規模な改修を行う場合、優先的に改修の必要性がある設備についてどのように考えているか。

健康福祉部長 照明設備のLED化や計画的に空調設備を更新することが必要であると

学校給食センターにおける調理場の労働環境改善を



録画配信

議員 現在、全国の83・6%の給食センターで空調が導入されている。エアコン設置を進めてこなかった理由は。

教育部長 エアコンについては躯体の強度や設置スペースの不足等により取り付けが困難であるため現状では設置していない。工事費用が高額化する懸念のほか、給食業務が停止してしまう等、想定される課題も多いことから、エアコン設置の必要性の認識は持ちつつ、引き続き調査や情報収集等を行っていききたい。

議員 エアコンが使用できないのであれば、冷却ベスト等を調理作業時に着用してはどうか。導入検討を要望する。

学校給食について

議員 栄養バランスの現状と不足への対応についてはどのようなか。

教育部長 栄養素の中には目標値に届きにくく、鉄や食物繊維等がやや不足している傾向にある。食べ残しが発生することで栄養素の摂取不足につながるから、喫食しやすいメニューの考案や味付けにする等、工夫を行い栄養不足の解消に努めている。

議員 数値的な目標を持って改善を図っていただきたい。給食費無償化と質の確保の両立についてはどのように考えているか。

教育部長 現在、国において検討や制度設計が行われている段階であるため、情報は明らかになっていないが、給食の質及び量の担保を可能とする



ペルチエベストの着用例
電気を通すと冷たくなる



おかだ みきお

る十分な予算措置を講じ、自治体格差が生じぬよう国に求めていきたいと考える。

議員 給食費無償化の対象範囲や開始時期、実施方法について決定次第速やかに説明いただけるよう要望する。

健診の申し込み方法に関する課題と改善の方向性

議員 健診の申し込み方法には多様なニーズがあるが、これらに応えるための改善策はあるか。また、電子申請に切り替えていく考えはあるか。

健康福祉部長 電子申請が難しい方もいるため、当面は紙の申請書と併用していく必要があると考えている。それぞれに定員を設けて柔軟に対応する等の検討を進め、より分かりやすい健診案内の作成等改善に努める。

議員 高齢者やデジタルに不慣れな方への配慮も実現し、利便性を高める工夫を重ね、市民満足度をさらに向上させていただくことを要望する。

一般質問

働く世代の健康支援として更年期障害対策を!!



録画配信

議員 更年期障害を「働く世代の健康課題」としてどのように認識しているか。

健康福祉部長 仕事のパフォーマンスを低下させるだけでなく、離職につながることもあり、働く上でも重要な健康課題であると認識している。

議員 正しい知識の啓発活動についてはどのようなか。

健康福祉部長 保健センターでは相談機会を設けるとともに、ホームページで更年期症状や治療等について情報提供を行っている。今後は、男性の更年期障害も含め、理解促進等、情報提供に努めていきたい。

議員 更年期に伴う体調不良は、原因が分からないまま、不調を抱えて就業を続けている場合もある。健康課題を個人の責任に委ねるのではなく、職場全体で支える体制を構築することが、誰もが安心して働き続けられる社会の実現につながるものと考えている。

健康福祉部長 プレコンセプションケア「妊娠前からの健康づくりについて」は若い世代の健康増進、質の高い生活を送ることで、健全な妊娠、出産のチャンスを増やし、次世代の子どもたちを健康にする取り組みであるが、本市の健康教育に取り組める考えはあるか。

健康福祉部長 プレコンセプションケアの普及啓発は大変重要であると認識している。対象者が学業や仕事等で忙しい世代であることを踏まえ、ホームページ等を活用し、取



更年期障害の症状は100種類以上



やじま さとこ

議員 妊娠支援だけでなく、生涯にわたる健康支援として誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めていただきたい。

多世代交流を促す自然体験の場づくりについて

議員 農業体験は命や自然、地域、社会等を学ぶ総合的な教育活動であり、ボランティアの方々と関わることで、様々なことを学べる大切な時間である。中央公民館・下蔵公民館・旭町公民館が共同で実施している「ぶちトマトくらぶ」の事業開始時期を現在の5月から、種まき、苗の植えつけを行う3月とすることについての見解は。

教育部長 植え付けから収穫までの一連の作業体験はこの事業の趣旨の一つであることから、スタッフの方と調整を図っていききたい。

ほかに 「学校プールの民間委託と既存プールの維持管理」について質問。

令和6年度企業会計 決算について



録画配信



おおishi こういち

議員 本市の水道事業は単年度では黒字だが、緊急対応等により、現金残高は年々減少している。水道事業が抱える最も大きな問題は何か。

水道部長 給水量の減少が最も大きな問題と認識している。節水機器の普及等が原因と考えられるが、現状では明確な対応策がない状況である。

議員 県水の料金改定を踏まえ、最低限の水道料金値上げは必要だと思うが、どの程度が適切と考えるか。

老朽化が進む上下水道管



定しており、毎年6500万円ほどの経費増加が見込まれるほか、老朽管等の更新、施設の維持管理費の増から、蕨市上下水道審議会へ「適正な水道料金等の設定について意見を求める」旨の諮問を行った。答申を受けた後、対応を検討していく。

議員 下水道施設の老朽化対策はどのようか。

都市整備部長 平成28年度に下水道管路長寿命化基本計画を策定し、重要な路線からの管路の調査や改修工事を進めてきた。今年度は、ポンプ場ストックマネジメント基本計画の策定に着手し、今後は計画に基づき、予防保全型の維持管理を進めていく。

議員 下水道使用料の改定についてはどのようか。

都市整備部長 物価高騰の影響等を考慮するほか、市民生活への影響等にも配慮し、適切な時期に検討を進める。

議員 市立病院では長期間赤字が続いているが、立て直しについての見解は。

病院事務局長 新型コロナウイルスの流行により、赤字幅が拡大。令和6年度決算では約3億2900万円の純損失を計上した。立て直しには、入院患者の確保を軸に医療収益の増を図っていくことが重要であり、赤字額の削減に努めていく。

議員 未収金の発生状況はどのようか。

病院事務局長 令和6年度、新たに発生した未収金の額は806万9588円であり、未収金額の圧縮に努めていきたい。

議員 市立病院建替えと同時に大胆な経営改革を行うことが必要。水道事業、下水道事業、病院事業は市民生活に直結するライフラインだからこそ、中期的な視点で更新投資、料金改定、経費削減のバランスを市民に見える形で示すことが不可欠である。

世代を問わず広がる 詐欺対策について



録画配信



ほんだ ていこ

議員 本市でも昨年10月に預貯金を奪われる詐欺被害が発生。行政・地域・警察が一体となった「福祉と防犯」の複合的な取り組みが不可欠である。本市としてどこに重点を置き取り組んでいくのか、市長の見解は。

市長 市民の安全・安心を守ることは最優先課題である。本市では、警察や町会、金融機関と連携して、詐欺防止に関する街頭キャンペーン、広報による周知、防災行政無線等での注意喚起を行っているが、いろいろな手口があることを様々な形で啓発していく

必要があり、さらに関係機関と連携していきたい。

議員 訪問型見守りを重点に地域包括支援センターや民生委員との連携を図り、防犯対策補助への申請サポートを整備してはどうか。

市民生活部長 地域ぐるみで見守り活動を進めていくことが重要と考えるが、それぞれの負担が増加するといった懸念があることから、当面は安全安心課において申請サポートを行いつつ、今後どのように連携を図ることが効果的なのか協議を進めていきたい。

議員 通話録音機能付き電話機の購入費補助を高年齢者世帯以外の方々にも助成対象の拡充を検討してはどうか。

市民生活部長 年々詐欺の手口は巧妙化していることから、本市での被害状況や他市の事例を参考としながら調査・研究していきたい。

議員 防犯カメラだけ

高齢者の被害を防ぐためには訪問型の啓発や見守りが重要



でなく玄関ドアの防犯錠等、防犯設備補助への拡充を行うてはどうか。

市民生活部長 本市においては、家庭用防犯カメラの設置補助を実施しており、多くの申請をいただいている。補助拡充については、設置費用やその効果について調査・研究していきたい。

議員 若者層でSNSを通じて「闇バイト」等のトラブルが増加している。学校や図書館のSNSリテラシー教育の実施状況はどのようか。

教育長 学校では、埼玉県警等による、SNSを活用した詐欺や「闇バイト」についての指導を行うほか、啓発チラシを家庭へ配布し、問題意識の向上を図っている。

また、図書館では入口付近にSNSリテラシーやネットトラブルに関連した書籍コーナーを設けている。

ほかに 「ワイルドフラワーを活用した緑化運動」について質問。

物価高騰の影響と 市政運営について



録画配信

議員 長引く物価高騰の影響は市政運営にも市民生活にも及ぶ。本市の財政見通しと市民負担にかかわる対応について市長の見解はどうか。

市長 健全な財政状況が維持できているが、物価高騰等の影響は注視する必要がある。市立病院の建替え等の事業では、財源確保とともに持続可能な行財政運営の展望を持ちながら進めることが大切。一方、市民生活は厳しい状況であり、市民生活を守ることが一番の使命。法律や国・県の関係で市民負担の見直しが避けられない場合でも最低限にとどめ、丁寧に説明する等最大限努力する。全体での物価

高騰対策課題はあるが努力したい。

多文化共生の取り組み

議員 多文化共生指針の実施状況と課題はどのようなか。

市民生活部長 令和6年度までに83・8%の項目を実施。今後は外国人住民が必要とする情報の提供や生活上の義務・ルール等の理解促進が課題。住民同士が異文化の理解を深める上で交流機会を増やす等の観点からキープアソンの発掘・育成に努めている。

議員 ヘイトスピーチ等は地域に差別や分断を生み出し、多文化共生を否定する。最近耳にする「外国人は優遇されている」との言説は事実ではないと認識するが、国保と生活保護の外国人住民の状況はどのようなか。

市民生活部長 国保の被保険者における外国人の割合が25・3%に対し、医療費では6・84%となっている。



すずき さとし

健康福祉部長 生活保護世帯全体での割合は35%（人口全体での割合は約13%）。
議員 こうした事実と多文化共生の意義、ヘイトスピーチの問題点を伝えることが必要。「ヘイトスピーチ禁止条例」の検討を要望する。

猛暑対策について

議員 高齢者等へのエアコン設置費や電気代等の補助制度を検討する考えはないか。

健康福祉部長 財源確保等が課題。調査・研究する。

議員 学校給食センターの冷房等の空調整備が必要と考えるが見解はどうか。

教育部長 厳しさを増す暑さの中で喫緊の課題。しかし工事費用の高額化や工事による給食への影響等の課題もあり調査・情報収集が必要。

議員 緊急の手立てを取った上で施設面での改善を要望。
ほかに 「生活保護制度」について質問。

一般質問

にぎわい交流拠点整備事業 の進捗について



録画配信

議員 にぎわい交流拠点整備事業の目標と成果をどのように見据えた上で、事業を進めているのか。

市民生活部長 蕨駅西口地区市街地再開発事業により、新たな集客拠点として形成されていく中、市役所仮設庁舎跡地を活用し、公民連携によるにぎわい交流拠点を整備することで中山道エリアへの集客を図り、さらに駅西口周辺の商店街をはじめ、駅前通りとの回遊性を生むことを目指し、事業を推進している。

議員 事業を進めるに当たり、市民に対して説明は行われているのか。

いるのか。また、意見交換会の実施は可能か。

市民生活部長 にぎわい交流拠点の整備に係る基本方針の策定に当たり、拠点エリアの町会や商店会を対象に説明会の開催やパブリック・コメントを実施する等、広く意見を募ったところである。意見交換会についてはご要望いただければお答えしていきたい。

議員 情報共有し合いながら進めていただきたい。

にぎわい交流拠点のうち、公共機能部分については人工芝を設置することだが、寒さ、暑さの対策は考えているのか。

市民生活部長 人工芝の広場を囲むように、ウッドデッキ調の通路やベンチを設けるとともに、暑さ対策としてパーゴラを設置したり、熱を感じにくい人工芝を使用する等、工夫をしていきたい。

議員 真夏及び真冬でも利用できる環境を造っていた



すずき しんのすけ

だきたいと要望する。

市役所敷地内へのキッチンカー出店の現状は

議員 最近はキッチンカーを利用する方が減少しているように感じるが、出店の現状はどのようなか。

市民生活部長 夏季は市内外でのイベント出店を優先する傾向にあるほか、猛暑のため出店を控えている状況が見受けられた。今後も地域のにぎわい創出の一助となるよう支援に努めていきたい。

議員 購入者から意見等は寄せられているか。

市民生活部長 いろいろなお店に来てほしい、量を減らして安価にしてほしいなどといった意見をいただいた。

議員 キッチンカーを毎日出店するのではなく、間隔を空けた方がブランド力につながるのではないか。これからも本市を盛り上げるため、いろいろな人たちと向き合っていきたい。



にぎわいを創出する拠点へ

多文化「地域共生」の 考え方について



録画配信



まえかわ やすえ

議員 多文化「地域共生」の考え方についての見解は。

市民生活部長 外国人住民が必要とする情報や地域社会で生活する上での義務やルール等について、さらなる理解促進を図ることが課題と考える。

議員 より一歩踏み込んだ第2次多文化共生指針が必要と考えるがどのようなものか。

市長 外国人住民に生活者としてのルールをより知ってもらう、守ってもらう取り組み、地域社会を共に支え、お互いを理解し合う取り組み等を強化していく必要があると考える。

ゆかりの品や地元農産物を取り扱う物販施設としての機能のほか、まちの歴史や観光名所を紹介するパンフレット等を配架し、2階には事務所のほか、会議室等を整備する予定。また、施設内には30台分の駐車場を整備し、その2階には広場を設け、素足でも遊べる人工芝等を設置し、暑さ対策としてパーゴラ等の日よけ設備を設ける予定である。

これまでごみの捨て方等を掲載した外国人生活ガイドブックを配布する等の取り組みを進めてきた。一方、住民同士が異文化の理解を深めるため、市及び町会、コミュニティで外国人住民との関係をつなぐキーパーソンとなるよう人材育成に努めている。

は、策定懇談会での議論や、市民の皆さんの声を聴きながら、議会での提言等もしつかり活かして、取り組んでいきたい。

議員 住民説明会等の開催状況はどのようなものか。

市民生活部長 基本構想の段階で近隣町会、中山道の商店会に説明を行った。今後もポイントごとの説明が重要であると考えており、町会長連絡協議会や、商店会の皆さんのご要望にお応えしながら、丁寧に説明していきたい。

議員 にぎわいを取り戻すための地元の商店・公共施設の努力は必要。そのためのアシストをお願いする。また、駅西口再開発との回遊性につながるよう重ねて願う。

にぎわい交流拠点について

議員 仮設庁舎跡地の利活用については、駅西口再開発とあわせて、にぎわいの創出や回遊性をもたらす事業とするよう願う。

議員 にぎわいを取り戻すための地元の商店・公共施設の努力は必要。そのためのアシストをお願いする。また、駅西口再開発との回遊性につながるよう重ねて願う。

市民生活部長 1階には、蔵

議員 にぎわいを取り戻すための地元の商店・公共施設の努力は必要。そのためのアシストをお願いする。また、駅西口再開発との回遊性につながるよう重ねて願う。

にぎわい交流拠点民間機能施設(コメダ珈琲店)※画像はイメージ



市民生活部長 1階には、蔵

議員 にぎわいを取り戻すための地元の商店・公共施設の努力は必要。そのためのアシストをお願いする。また、駅西口再開発との回遊性につながるよう重ねて願う。

昨年度8.5億円赤字の市立病院 経営改善を問う



録画配信



かなまる けんじ

議員 令和6年度において一般会計からの繰入額と赤字額はどのようか。

病院事務局長 令和6年度は、一般会計からの繰入額は5億円、純損失から繰入金と補助金を除いた額は約8億5000万円となる。

測値と実績値との乖離が生まれている。地域連携・安定的な経営という観点から、市立病院の医療圏に於ける環境変化をどのように分析しているのか。例えば、専門機材を備えたクリニックが地域で増えることで、市立病院での外来のニーズが下がる可能性はどのようか。

また、市立病院の第一の使命は「市民の健康の維持増進」である。病院の診療機能を全て維持して赤字を市が支える選択肢もあるが、その予算を予防医療や介護予防に使ったり、市民全体に公平に医療アクセスを提供するという考え方をからオンデマンド型の交通を走らせ、市民が市立病院・他の病院・市内にアクセス出来ることで健康寿命の増進にも資するかも知れない。市長には今後とも多角的な視点でご検討いただきたい。

議員 市立病院経営強化プランに記載された令和6年度の収支予測と、実際の決算との差は約4.6億円となり、プラン策定から約1年半で、予算策定から約1年半で、予

病院事務局長 当院の外来と同じ機能を持つクリニックが開設されれば、受診のニーズの減少の可能性は否定できないが、クリニックは入院機能がないので、当院への入院の需要という部分も出てくるものと考えている。

ほかに 「総合診療医が在宅医療で果たす役割」「車での送迎用に病院玄関への雨避け設置」「職員の残業代1.6億円の削減にも資する庁内DXの推進」等について質問。

全国の病院を取り巻く状況(私論)

- 全国8割以上の病院が赤字で、医療崩壊の危機
- 背景には経費高騰(人件費・物価)で他業界は値上げ続きだが、診療の値段(診療報酬)がずっと上がらない
- ただし、国全体で毎年1兆円の医療費が増える中、診療報酬を上げると国民負担が更に増えるので、地域のクリニックや病院間での役割分担や効率化も求められる
- 2026年の診療報酬改定も注視しつつ、市民の健康を守るため、蔵市はどの程度の財政負担でどのような機能が必要か、経営改善のビジョンが必要

議員 入院が増える診療科や診療がどの程度あるか分析が必要だと感じる。各種御答弁を聞くと、今できる経営改善策は全て行っているが、今の延長線上では大きな赤字改善の手は見えて来ない。期待が持てると思うと、新病院になり環境が改善されて、出産数や入院稼働率が改善し、外来

の診療数も増えることだが、新病院建設費の返済額以上に収益が改善するのは分析が必要だと感じる。市立病院の経営アドバイザーの拡充が可能なら、検討する価値は有るのではないか。

また、市立病院の第一の使命は「市民の健康の維持増進」である。病院の診療機能を全て維持して赤字を市が支える選択肢もあるが、その予算を予防医療や介護予防に使ったり、市民全体に公平に医療アクセスを提供するという考え方をからオンデマンド型の交通を走らせ、市民が市立病院・他の病院・市内にアクセス出来ることで健康寿命の増進にも資するかも知れない。市長には今後とも多角的な視点でご検討いただきたい。

ほかに 「総合診療医が在宅医療で果たす役割」「車での送迎用に病院玄関への雨避け設置」「職員の残業代1.6億円の削減にも資する庁内DXの推進」等について質問。

市長マニフェストの進捗状況について 中央プールの室内化の方向性は



録画配信



えのもと かずたか

議員 市長マニフェストの進捗状況はどのようなか。

総務部長 令和7年6月現在で実施済み、一部実施・着手をあわせて84%である。

議員 「発達障がいや医療的ケアが必要な子どもへの支援拡充」について、現在、医療的ケア児への日常生活用具給付の拡大を行ったのみである。このほかに何を行うのか。

健康福祉部長 まだ障がいと診断されていない・療育施設等も利用していないが、発達に不安のある保護者に対する相談やサービス内容がもっと

分かるようにすることが課題であり、情報提供の充実を図っていききたい。

議員 中央プールの室内化について、市長は市議時代に、

「子どもからお年寄りまで楽しめる温水プールを」と公約に掲げたこともある。温水プールへの思いは。

市長 これから小学校の水泳授業の民間委託を広げる中で、民間のプールが突然使えなくなることもあり得る。子どもからお年寄りまで年間を通じて利用できるプールが必要ではないかとマニフェストに掲げた。

議員 藤の魅力を高める上でも、また子育て世代を呼び込むためにも、子どもも使えるプールの整備を要望する。

外国人生活保護の実態は

議員 最近、外国人の生活保護に関する誤解がネットを中心に広まっている。外国人の生活保護の実態はどのようなか。

健康福祉部長 本市の受給1300世帯のうち、46世帯であり、全体の3.5%である。

議員 国籍別ではどのようなか。

健康福祉部長 フィリピン16世帯、韓国10世帯、中国8世帯等となっている。

議員 様々な誤った情報の拡散等も含め、市長の見解は。

市長 生活保護は法定受託事務で、外国人については国の通知に基づき全国同様の対応である。本市の生活保護受給者に占める外国人の割合は3.5%であり、日本人世帯に比べてはるかに低い。こうした状況にも関わらず誤った情報がSNS等で発信されることは、外国人への差別や分断を助長する憂慮すべき状況だ。また、そういったことが日本人の住みにくさにもつながるのではないか。みんなが住みやすいまちを作っていくのだと、引き続き訴えていきたい。

ほかに 「大人の引きこもり」「親子後の障がい者」等について質問。

一般質問

ごみ減量化に向けての取り組みについて質問する



録画配信

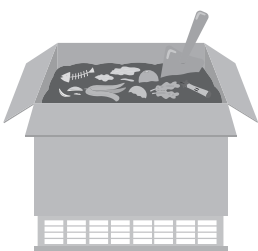
市民生活部長 衛生センターの火災発生後、もやすごみは他の自治体への搬送、処理を行っているが、収集時間への影響及び費用面等から、ごみの減量化への協力を行っている。

今月から、生ごみ処理機及び生ごみ処理容器の購入費用への補助を開始。生ごみ処理機は補助率1/2、上限額3万円、生ごみ処理容器は、補助率1/2、上限額3000円（1世帯につき2基まで）。

自転車も歩行者も安全なまちづくりを

議員 自転車事故が増えている現状から来年4月1日より道路交通法の改正が行われる。市内では歩行者も自転車も通るのに危険な道路があるが、交通安全対策についてはどのような対応を図るか。

市民生活部長 本年12月から、リチウムイオン電池等は、透



段ボールコンポストは失敗が少なく安価な金額でスタートできる

保育行政の充実を

議員 留守家庭児童指導室に常勤の職員を配置してほしい。

と長年要望してきたが、その後の状況は。

健康福祉部長 今年度4月から1日7時間、週5日勤務する常勤の会計年度任用職員を1名配置しており、10月にはさらにもう1名を配置予定。

議員 民間留守家庭児童指導室が南小字区に設置される見通しだが、設置場所は。

健康福祉部長 南町2丁目の南町郵便局隣の建物1階空き店舗部分に開設予定。

議員 長期休業中の留守家庭児童指導室の宅配弁当についての実施状況は。

健康福祉部長 公設公営及び公設民営の16室を対象に、7月22日から8月22日まで、19日間実施した。

議員 指導員も利用できるのか。また、待機となっている児童館利用の4年生も利用できるようにしてほしい。

健康福祉部長 指導員も利用できる。児童館利用の登録児童も、利用できるようにしていく。



やまわき のりこ

市民が安心して暮らし 多文化共生を進めるために



録画配信



こばやし りき

議員 国民健康保険制度の健全な維持のためには現状を正確に把握し、公平かつ実効性のある収納対策を推進することが必要である。日本人の滞納率8.3%に対し、外国人は19・7%と約2倍であるが、外国人に対する収納率向上のための取り組みはどのようなものか。

議員 市民が安心して暮らし、多文化共生を前向きに進めていくために、市全体としてどのような方針を持ち、どのように考えているか。

市長 日本の法律、生活習慣上のルール、文化も含めて伝えて守っていただくことが大事であり、対策、周知等をする努力を強めていく必要がある。全体としてルールを守っていくことが、誰もが安心して暮らせるまちにつながるという立場で、引き続きしっかりと取り組んでいきたい。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 体育施設としてだけではなく、災害時の大規模避難所という観点より、かねてからエアコン設置を検討されていると思うが、現状の進捗はどのようなものか。

議員 必要性は十分認識しているが、実際に設置するとなると一定期間アリーナが使用できなくなる懸念等がある。利用者からの要望は伺っており、実現できる方法はないかという思いは持っている。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。



お互いの文化を尊重しつつ
地域社会のルールを共有しよう

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。

議員 エアコン設置の見積もりの際に自家発電設備の費用も含まれているのか。



議員派遣報告

第87回 全国都市問題会議

成熟社会の都市のかたち

コンパクトで持続可能なまちづくり

10月9・10日の2日間にわたり、全国の市長・市議会議員等が参加し、都市の抱える問題や地方自治の在り方について議論する「第87回全国都市問題会議」が栃木県宇都宮市で開催され、本市議会からは、3名の議員が参加しました。

今回の会議は「成熟社会の都市のかたち」をテーマに、講演やパネルディスカッションにより、人口減少や一極集中、都市の持続可能性等といった現代の社会的課題への様々なアプローチや研究成果の報告が行われ、多くの気付きを得ることができました。

1日目は広井良典・京都大学名誉教授より「人口減少・成熟社会のデザイン」をテーマに基調講演が行われました。

主報告を行った佐藤栄一・宇都宮市長からは、都市機能を集約する高次都市機能誘導区域を定め、さらにその周辺等に都市機能誘導区域や、市街化調整区域の地域拠点を決めるとともに、誘導施設の新築・建て替え費用の一部助成等により、幅広い都市機能の誘導・集積を図る取り組みが報告されました。

その後は、「縮充」発想による公共施設マネジメント」をテーマとした南学・東洋

大学国際PPP研究所シニアリサーチパー トナー、「都市縮小時代の持続可能なまちづくり」人がつどい 未来に躍動する世界都市・高松」をテーマとした大西秀人・香川県高松市長、「次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり」をテーマとした森本章倫・早稲田大学理工学術院教授より、それぞれ一般報告がなされました。

2日目は内田奈芳美・埼玉大学大学院人文社会科学部研究科教授をコーディネーターに、今回のメインテーマに基づいたパネルディスカッションが行われました。4人のパネリストが、交通事業者と行政の協力関係がまちづくりに不可欠であることや人口減少と高齢化、インフラの老朽化、中心市街地の空洞化など多くの課題を抱える室蘭市の取り組み、まちなかや郊外が一体に発展するための取り組み等、それぞれの視点から発言し議論を深めました。

その後は、「縮充」発想による公共施設マネジメント」をテーマとした南学・東洋

大学国際PPP研究所シニアリサーチパー トナー、「都市縮小時代の持続可能なまちづくり」人がつどい 未来に躍動する世界都市・高松」をテーマとした大西秀人・香川県高松市長、「次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり」をテーマとした森本章倫・早稲田大学理工学術院教授より、それぞれ一般報告がなされました。

2日目は内田奈芳美・埼玉大学大学院人文社会科学部研究科教授をコーディネーターに、今回のメインテーマに基づいたパネルディスカッションが行われました。4人のパネリストが、交通事業者と行政の協力関係がまちづくりに不可欠であることや人口減少と高齢化、インフラの老朽化、中心市街地の空洞化など多くの課題を抱える室蘭市の取り組み、まちなかや郊外が一体に発展するための取り組み等、それぞれの視点から発言し議論を深めました。

その後は、「縮充」発想による公共施設マネジメント」をテーマとした南学・東洋





常任委員会 視察報告



総務常任委員会

令和7年11月5日～6日



○視察地・調査事項

- ◆新潟県見附市 防災対策について
- ◆新潟県新潟市 DXの取り組みについて

見附市では、平成16年7月に大雨による洪水で大きな被害を受け、災害対策に積極的に取り組んでいます。ハード事業では、田んぼダムや雨水貯留管・緊急排水ポンプの設置、トイレトレーラーの導入等があり、ソフト事業では、防災カメラの設置や避難するときに他の人にも声をかけをする避難インフルエンサーの拡充、様々な防災訓練の実施、防災スクールの推進等の取り組みを行い、災害に強いまちづくりを推進していました。

新潟市では、令和7年度末までに行政手続きのオンライン化率90%を目指し、令和6年度末で約84%の達成状況となっています。申請等のオンライン化による市民の利便性向上や、ノーコードツールを利用した業務効率化などのメリットがあります。また、市内外の企業が会員として参画できる「DXプラットフォーム」を運営し、異業種連携による新たなビジネス創出や各会員企業のDX促進の取り組みを実施していました。

環境福祉経済 常任委員会

令和7年11月4日～5日



○視察地・調査事項

- ◆香川県三豊市 市民病院建替えまでの経緯と経営再生に向けた取り組み等について
- ◆香川県坂出市 坂出市立病院の再建と経営等について

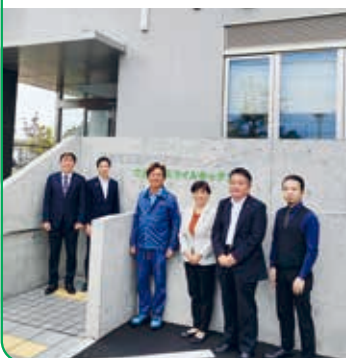
みとよ市民病院は、建設段階から施行者が参画するECI方式を採用し、工期の短縮とコスト抑制が実現されていました。また、病床数を157床から122床へと削減し、ほぼ全室の個室化を図り、入院差額ベッド代を無料とすることで、患者や家族の満足度も高まったそうです。高齢化による医療需要の変化を見据えた組織体制が構築されており、大変参考になりました。

坂出市立病院は、平成3年には廃院勸

告を受けましたが、職員の意識改革を進め、病院再建を果たしました。全職員参加の部会活動の推進などにより、職員間のつながりを深め、風通しを良くすることで、医療の質の向上と職場環境の改善を図ってきました。また、市民や患者からの意見や外来アンケートを通じて要望を把握し、即応的な改善を図る取り組みも印象的でした。困難な経営状況を乗り越え、改革を進めてきた経緯は大変参考になりました。

教育まちづくり 常任委員会

令和7年10月16日～17日



○視察地・調査事項

- ◆埼玉県三郷市 三郷市立瑞沼学校給食センターについて
- ◆大阪府泉佐野市 こども朝食堂の取り組みについて

三郷市立瑞沼学校給食センターは、高水準の衛生管理体制が印象的で、アレルギー対応のため専用調理室を設け、専任の栄養士による個別対応を実施するなど、全ての児童が安心して給食を楽しめる環境づくりが進められています。また、食育推進の一環として、食生活や栄養バランスを可視化できる「食育SATシステム」を導入するなど、「食育・安全・地域連携」を担う教育拠点として機能していることを実感しました。

泉佐野市で実施されているこども朝食堂は、市がNPO法人及び地域団体に委託しており、市内全小学校13校で行われています。週2回、各学校の家庭科室で実施し、全児童が参加対象、事前申し込み不要、参加費無料です。食事の提供だけでなく、家庭や学校と地域をつなぐ「朝の居場所」としての役割を果たしており、規則正しい生活リズムの確立や安心して登校できる環境づくりに寄与していると実感しました。

編集後記

もう12月。子どもの頃は一年が長く感じたのに、大人になると本当にあっという間。この感覚の違いは「ジャンナーの法則」と呼ばれています。人は年を重ねるほど、一年がこれまで生きてきた時間の中で占める割合が小さくなるため、時間の流れが早く感じられるそうです。つまり、子どもにとっての一年は「未知への発見」に満ち、大人にとっての一年は「経験の積み重ね」なのかもしれません。

市議会としても、新しい視点を忘れず、一つ一つの課題に丁寧に向き合う姿勢を大切にしていきたいと思います。市民の皆さまとともに、よりよい未来を築くため、これからも議員一丸となって努めてまいります。

広報広聴委員会

委員長 岡田みさお
副委員長 金丸けんじ
委員 宮下 奈美
鈴木 慎乃助
庄野 航二
矢嶋 聡子
榎本 和孝
鈴木 智
大石 圭
古川 歩